

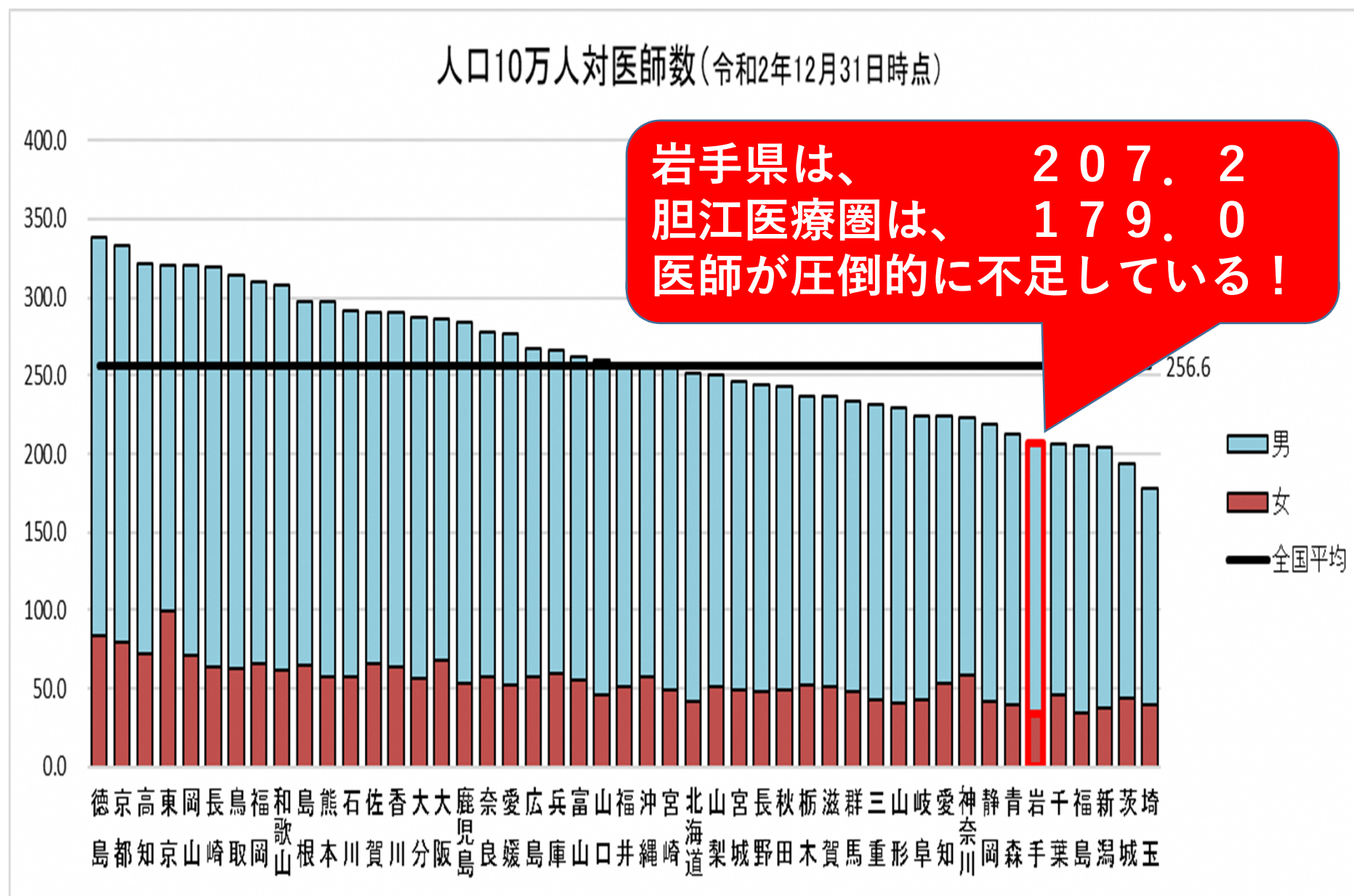
安心の地域医療をめざして

～新医療センター市民の意見を聴く会～

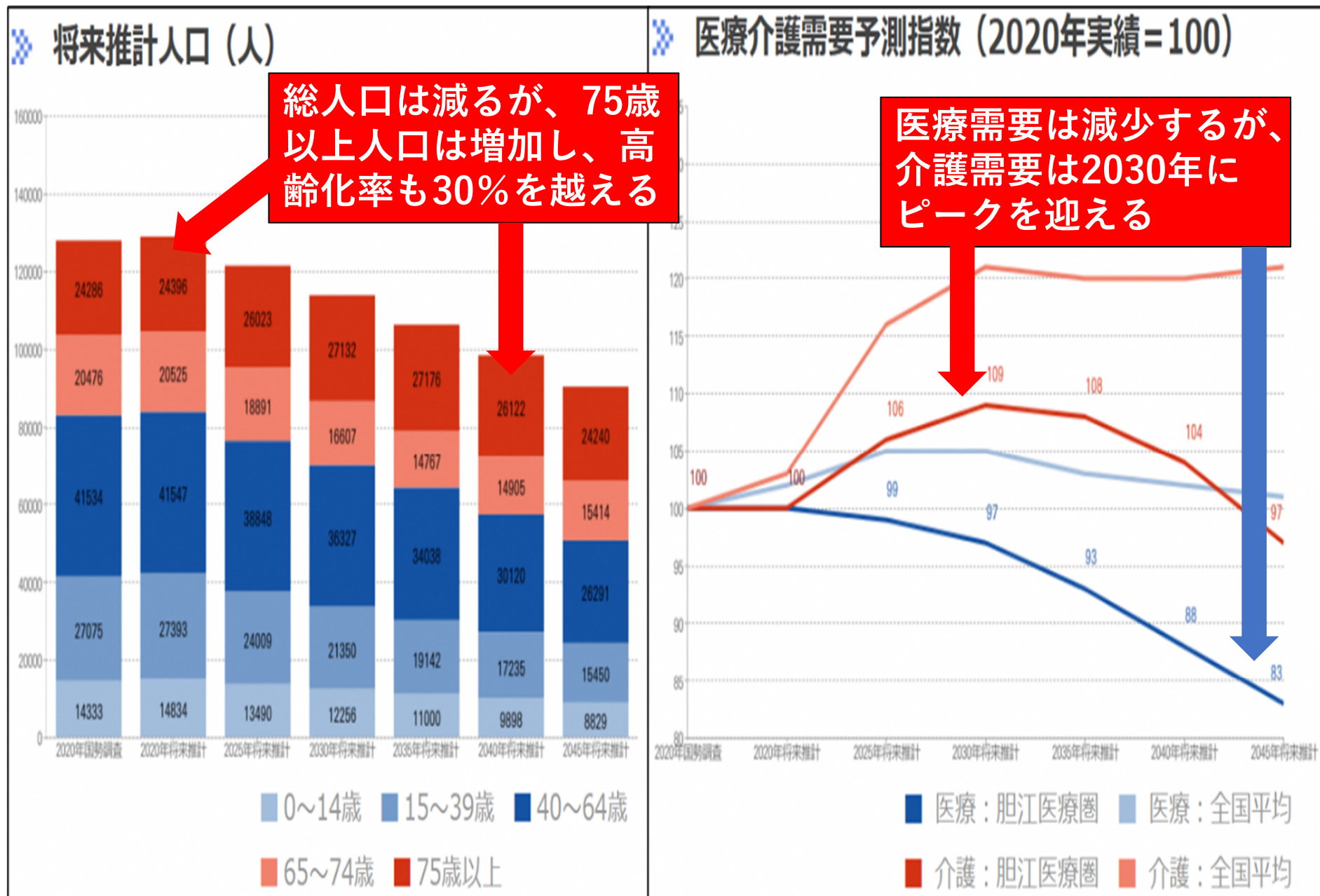
2023年11月

奥州市

I 医師・看護師等の不足と医師の働き方改革への対応



II 人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化



今すぐに手を打たないと……

医師不足、医師の負担増

人口減少、後期
高齢者の増加

新たな医療ニーズ
に対応できない

特定の病院
への過度な
集中

更なる負担増
による医師の
離職

医療の質、
量の低下

地域医療の崩壊

今、手を打てば、流れを変える
ことができます！



安心して暮らせるまちへ

医療の質、
量の向上

若い医師
の就職増

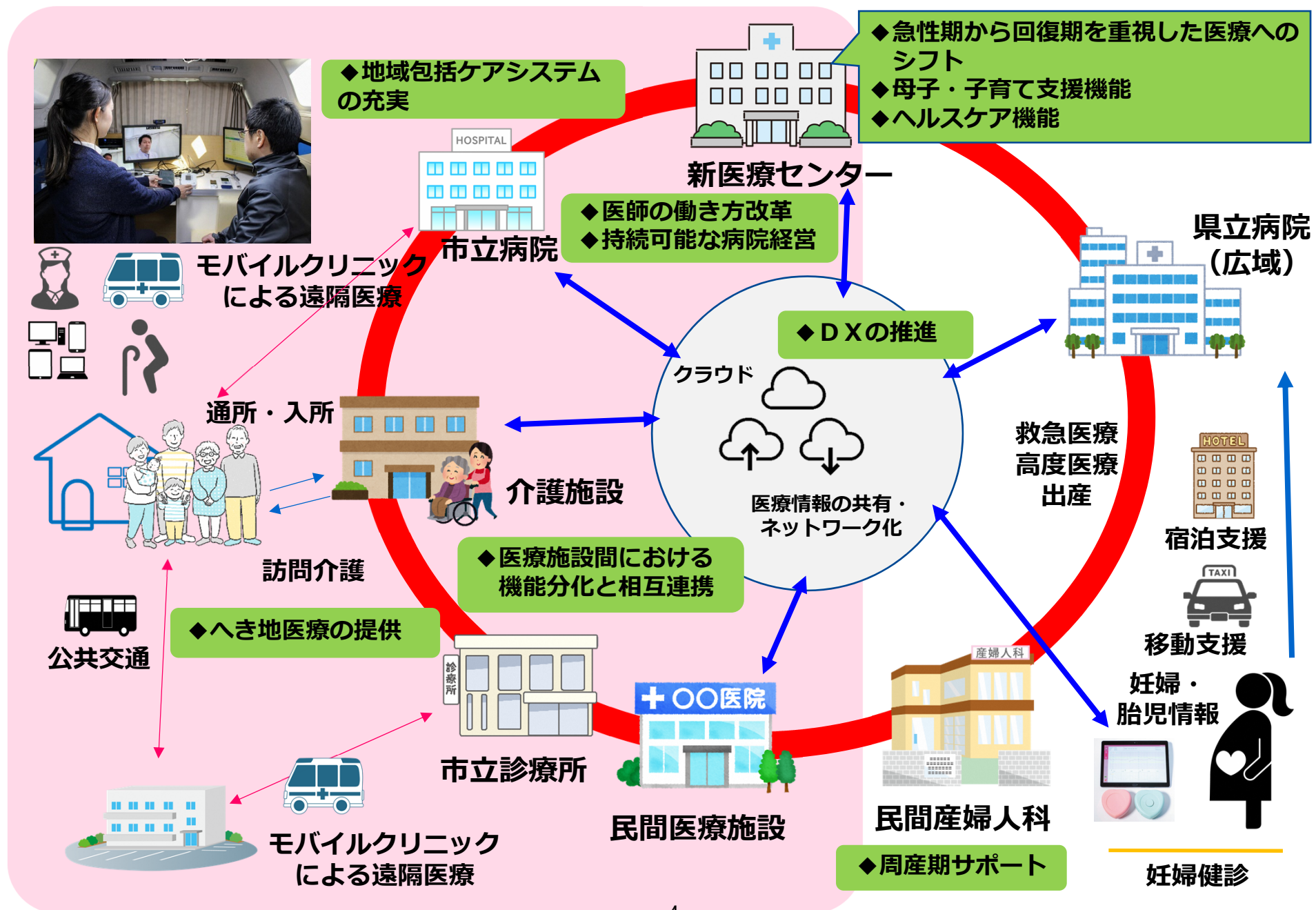
症例数
の増

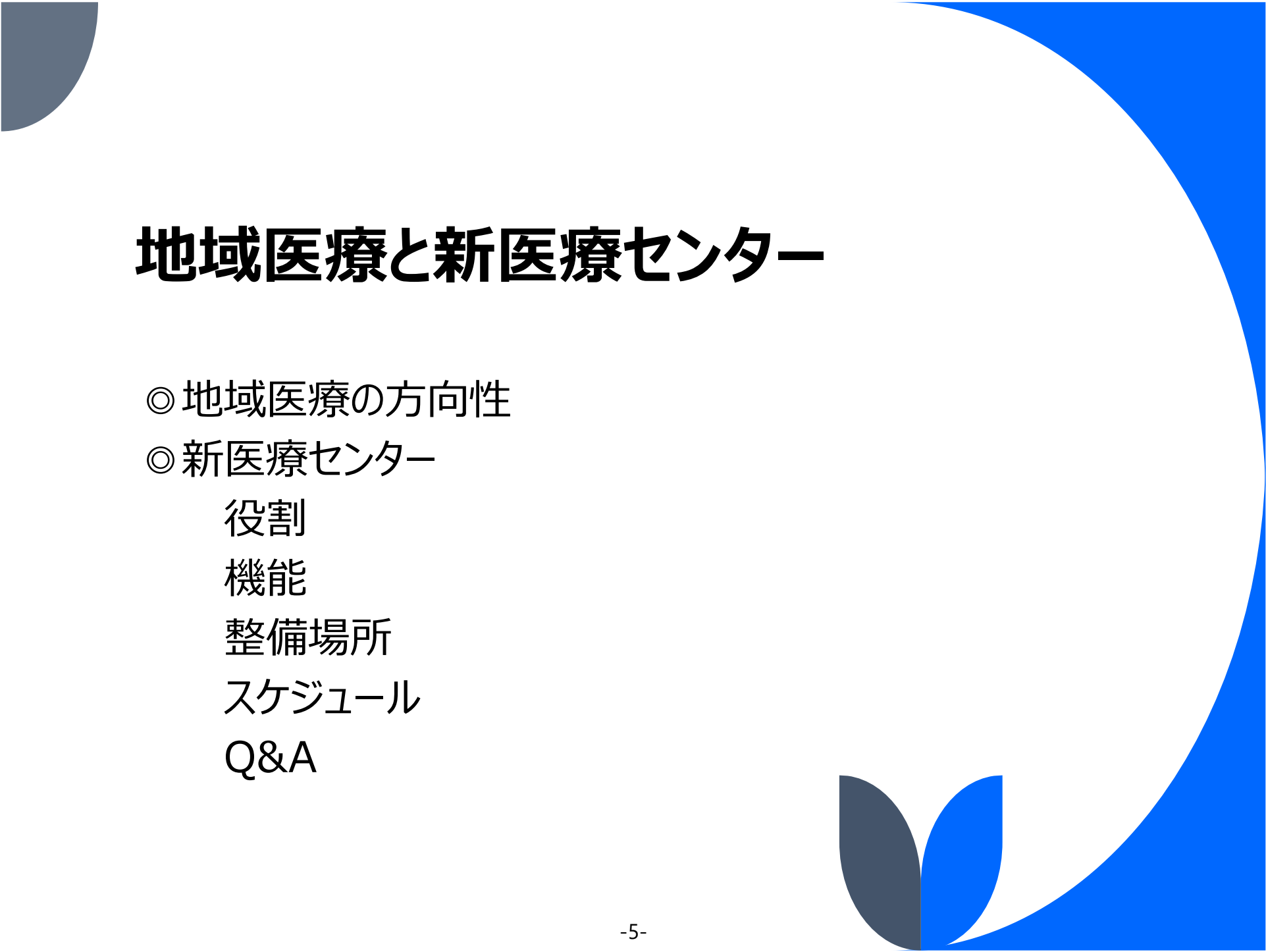
働きやすい
職場環境

医療ニーズ
に添った医
療の提供

医療資源
の最適化

地域医療奥州市モデルについて（イメージ図）





地域医療と新医療センター

◎地域医療の方向性

◎新医療センター

役割

機能

整備場所

スケジュール

Q&A

地域医療の方向性と新医療センターの役割（案）

地域医療 奥州市モデル 6つのコンセプト

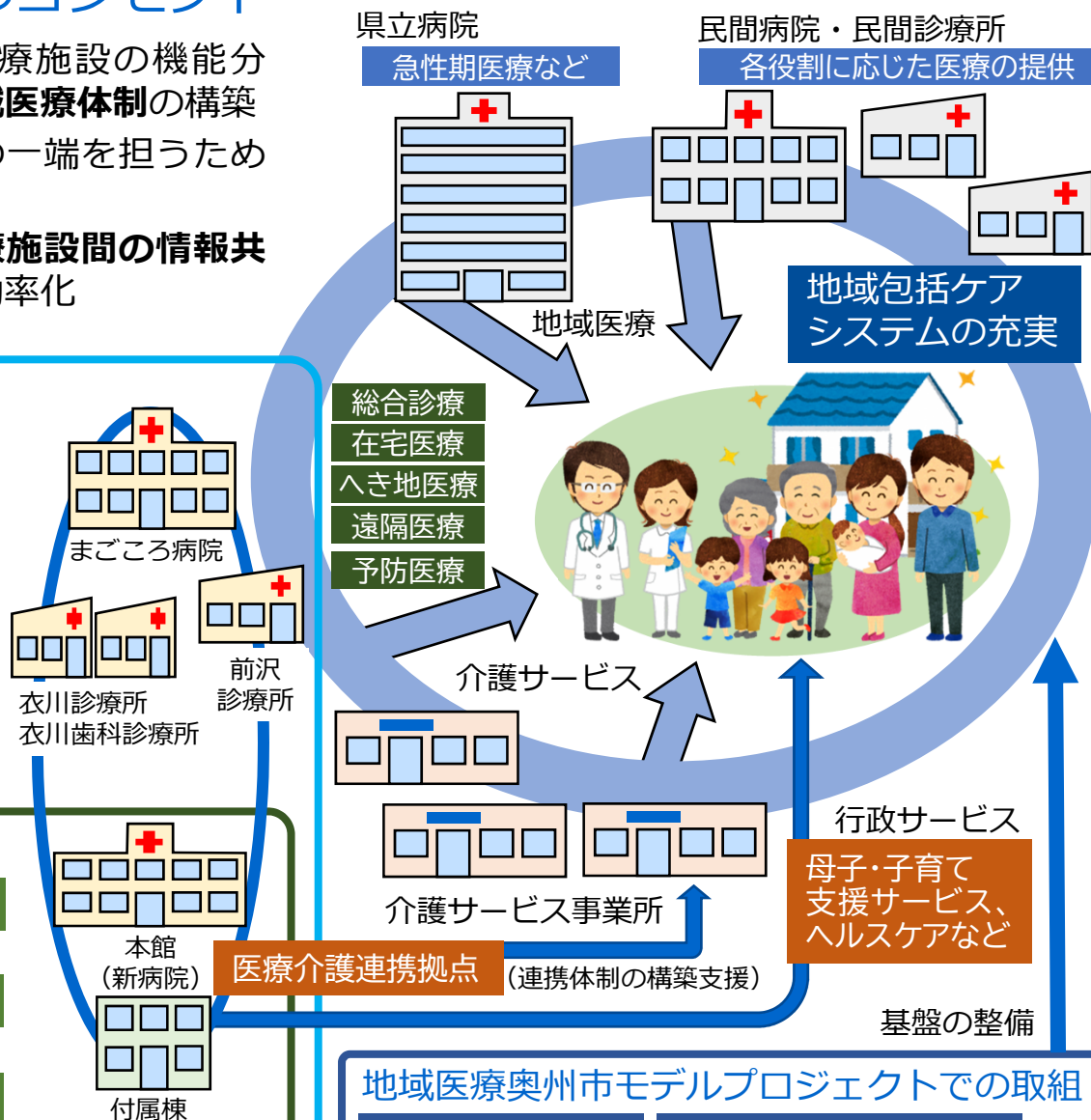
- (1) 市立医療施設、県立病院、民間医療施設の機能分化・連携強化によるネットワーク型地域医療体制の構築
- (2) 地域包括ケアシステムの充実とその一端を担うための医療体制の構築
- (5) 医療情報のデジタル化の推進、医療施設間の情報共有化による患者の利便性向上、業務の効率化

5つの市立病院・診療所

- (3) 医療資源を最適化し、その後（デジタルネットワークや5つの市立医療施設と2つの県立病院の連携体制が整った後）に、市立医療施設の集約化の検討を進める
- (4) 市立医療施設の経営改善と医師確保対策についての実効性ある取組
- (6) 奥州市モデルの実効性を高めるための複合型の新医療センターの整備推進

新医療センターの役割

地域の医療需要や持続可能性への適応
回復期を重視した多機能型医療の提供
市立施設の資源最適化のコントロール
本部機能を強化し、連携や資源配分を調整
医療 保健 福祉が連携したサービス提供
デジタル技術や情報ネットワークの活用



特徴

- ・急性期医療から、回復期を重視した多機能型の医療にシフト
- ・介護予防から在宅医療までの手厚い医療を提供できる体制を構築

項目	内容
外来等	一般外来、入院対応、透析等
救急	基本的には胆沢病院に集約する方針とするが、必要とされる受入機能については継続して協議
感染症対応	市立医療施設としての役割については、関係機関と継続して協議
地域包括ケア	まごころ病院と連携しながら、訪問看護ステーションの体制を強化する。リハビリテーション機能についても365日対応とするなど充実強化を図る。
小児医療	外来の休日対応など、子育てニーズに対応できる体制を構築
病床数	80床程度

新医療センター機能案（付加機能）

（１）母子・子育て支援

- ・ 産前産後ケアの強化
- ・ 子育て相談の強化
- ・ 病後児保育の実施
- ・ 子どもの遊び場の設置
- ・ 青少年の性の健康問題の予防等
- ・ 周産期から子育て期間にわたる多様なニーズに応えられる機能の設置



（２）ヘルスケア



- ・ オンラインにも対応した高齢者のフレイル対策
- ・ 健診事業の強化
（健診拠点としての活用、デジタル活用による受診勧奨）
- ・ 健康増進事業の実施
（健康相談、健康教室、居場所づくり など）
- ・ 奥州歯科医師会と連携した口腔ケアの推進
（口腔健診の実施、口腔ケア講座 など）

新医療センター整備候補地の選定経過

(1) 整備候補地に関する複数案

整備候補地の選定に当たっては、地域属性（郊外、市街地、現地建替）ごとに検討しました。

(2) 選択した地域属性とその理由

各プランごとに検討した結果、「市街地」を最適なプランと選択しました。その理由は次のとおりです。

《理由①》高齢者の利用頻度が高い公共交通の利便性が良い場所であること。(利用者の利便性)

《理由②》医療提供の場以外にも多世代の人が利用するまちづくりの拠点としての性格を付与する場合においては、市街地に整備する方が賑わいの創出や新たなまちづくりにつながるポテンシャルが高いこと。
(まちづくり拠点としての可能性)

《理由③》市街地、特にも立地適正化計画エリアに建設することで、国からの補助制度の活用が可能になり、建設コストにおける一般財源の大幅な低減が可能になること。(建設コストの低減)

(3) 選択した候補地

「市街地」案を基に最適地を検討した結果、下記に掲げる4つの理由から

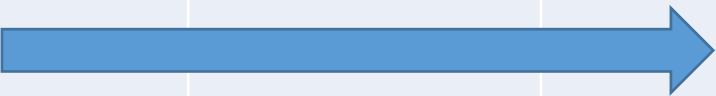
「水沢公園の陸上競技場及びその周辺」
を最適候補地と考えています。

(4) 選択した理由

- ①利用者（市外・市内）のアクセス面での利便性
- ②ネットワーク型地域医療体制の中核となりえる適地
- ③まちづくり拠点として多世代が集まるエリア
- ④コストの低減



新医療センター建設のスケジュール

	5年度	6～7年度	8～9年度	10年度	11年度
公立病院経営強化プランの策定					
新医療センター整備基本構想の策定					
新医療センター整備基本計画の策定					
基本設計、実施設計、施工					
開所					

- ◆令和6年11月までを目途に基本構想・基本計画を策定します。
- ◆基本構想・基本計画は、公立病院経営強化プランとの整合を図ります。
- ◆新医療センターの開所は、令和11年度を見込んでいます。

新医療センターに関するQ&A

Q 新医療センターってなに？

A 単なる水沢病院の建替えではなく、母子・子育て支援機能やヘルスケア機能を兼ね備えた**利便性や付加価値の高い複合型の医療施設**を新たに整備するものです。
いのちと健康を守り支える「地域との医療コミュニケーション拠点」をつくり、治療だけではなく、**予防や健康づくりを充実させ、市民の健康寿命を延ばします。**

Q 新医療センターができると何が変わる？

A ・高齢化社会に対応し、**回復期を重視した医療や地域包括ケアシステムの充実**を図ります。
・5つの市立医療施設の指令塔となり、**医療資源の最適化と持続可能な体制を構築**します。
・産後ケアの拡充や病後児保育の実施などを通じ、**妊産婦や子育ての支援を充実**させます。

Q 新医療センターに産科（分娩機能）を設けることはできないの？

A 産科設置には複数の診療科（複数の産科医ほか小児科医、麻酔科医）の連携が必須であり、**現状では極めて厳しい状況です。不安を解消するため、妊産婦支援サービスの一層の充実**を図ります。
あわせて、**将来の産科医誘致に向けた布石となる方策を検討**していきます。

今後、さらに詳細を詰めていく必要があります。

市は、市民の皆様とともに考えながら、奥州市の未来を担う新医療センターの整備に向けた作業を進めていきます。